

教員の自分らしさ。 やりたいこと応援通信

わだち



「わだち」リニューアル

した。夏季休業も残り、フリッずかとなり。夏休みも過ぎました。この夏も、新しいことを始めたい。新しいことに挑戦したい。新しいことに挑戦したい。

「六十五歳定年延長」と「役職定年」

定年延長のスケジュールは、二〇二三年から二〇二四年にかけて実施される。これは、教員の定年延長のスケジュールを示している。



お知らせ

自分の経験値を「見える化」しませんか。自分がやってきたことを振り返るために、紙に書いたり、「どんなことをしてきたか」お話を聞かせていただくことにより、自分の強みが見えてきます。



info@edu-supply.com

職務定年延長の導入により、教員の定年延長のスケジュールが変更される。これは、教員の定年延長のスケジュールを示している。

今後、高齢期の教員に期待される役割

●今後、定年年齢が延長されるに当たり、高齢期の教員には、それまでに培った技能や経験を生かして、学校現場が抱える以下のような課題に対応する役割を担うことが期待される。

- ベテラン教員の大量退職と大量採用による若手教員の大幅な増加
 - ⇒新規採用者に対して実施される初任者研修の指導教員等として、若手教員への指導技術等の継承を図る
 - ⇒自らも学校運営に取り組みつつ、若手教員の相談相手となることで、困難に直面した若手教員をサポートする
- 中堅層が比較的少数であることによるミドルリーダー不足
 - ⇒引き続き学校運営の中核を担いつつ、ミドルリーダー層に自らの技能や経験を伝授し、ミドルリーダー層の育成を図る
 - ⇒教育委員会事務局において企画立案や指導の事務に従事することを通じて、各学校の運営をサポートする
 - ⇒管理職候補を確保することができない地域においては、即戦力として引き続き管理職の職務を担うことも期待される
- 学校が直面する課題の複雑化・困難化による学校現場の多忙化
 - ⇒それまでに培った技能や経験を生かし、引き続き学校運営の中核を担う
 - ⇒自らの培った経験を管理職や同僚教員に横展開することで、学校運営の更なる高度化・効率化を図る

文部科学省 高齢期の教員に学校現場の課題を再認識させる取組

今後期待される高齢期の教員の役割とは、経験豊富なスキルを生かして、学校現場の課題に対応する役割を担うことが期待される。

と先にも見えない人も、定年延長に備えてリカレントキャリアを築き、社会に貢献できる人材を育てることが求められる。これは、教員の定年延長のスケジュールを示している。